

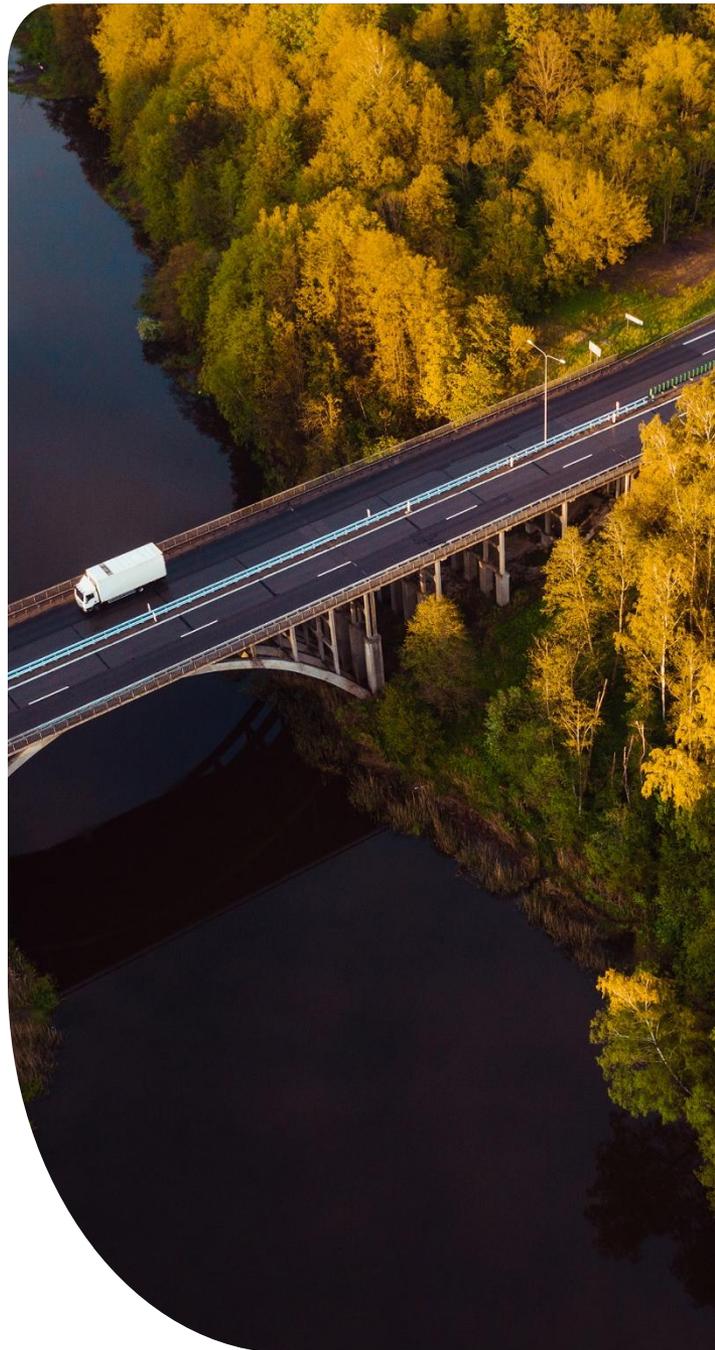
# News Insight & Recap

2026年2月



続きを読む

注：以下の内容は、特定の個人または法人の状況に対応することを目的としたものではありません。また、本書類の受領日時点で情報が正確であること、あるいは今後も引き続き正確であることについて、何ら保証するものではありません。



## GRANT THORNTONの洞察

2月の各種指標をみると、ベトナム経済は強さと弱さが混在する状況となっています。製造業の活動は引き続き改善し、貿易の流れも堅調に推移している一方で、より慎重な環境を示唆する兆候も見られます。輸入の増加が輸出を上回っていることは、産業活動が活発化していることを示す一方で、輸入原材料への依存度の高さや、依然として脆弱な外需を反映しています。投資動向も不均一であり、既存投資家は引き続き事業拡大を進めている一方、新規投資は世界的な不確実性の中で慎重な姿勢が見られます。同時に、エネルギー価格の上昇は、輸送、物流、輸出志向型製造業全体にコスト圧力をもたらし始めています。

政策面では、最近の動きは持続可能な成長の基盤強化に向けたベトナムの継続的な取り組みを示しています。投資および対外貿易の枠組みに関する規制改革は、手続きの簡素化と、拡大する貿易協定ネットワークとの整合性の向上を目的としています。インフラ開発も引き続き重要な柱であり、大規模な交通プロジェクトは、特に南部経済圏における産業の連結性強化に寄与することが期待されています。また、国家AI開発基金の設立計画などの取り組みは、ベトナムの技術力を段階的に強化し、産業高度化の次の段階を支援しようとする姿勢を示しています。

今後を見据えると、ベトナムは外部環境がより厳しく、かつ予測困難になる可能性のある局面に入りつつあります。地政学的緊張の継続、主要なエネルギー生産地域での紛争、主要市場における脆弱な回復は、世界経済の不安定さを高めています。グローバルな生産ネットワークに深く組み込まれているベトナムにとって、これらの要因は貿易や投資の変動をより大きくする可能性があります。そのため、今後数か月においては、投資家の信頼維持、外部圧力への対応、そして現在の成長モメンタムをより持続可能な成長へとつなげるために、政策の連携と経済運営の重要性が一層高まると考えられます。



続きを読む

## 1. 2025年の公共投資実行額、過去5年で最高水準に到達

財務省によると、2026年最初の2か月間におけるベトナムの公共投資実行額はVND55.74兆（約USD22億）に達し、首相が割り当てた計画の5.6%に相当します。内訳としては、中央予算の実行額がVND10.18兆（計画の2.9%）、地方予算はVND45.56兆（7%）となっています。実行率は2025年の同時期とほぼ同水準にとどまったものの、実行額の絶対値はVND10.93兆増加しており、これは総額VND995兆を超える2026～2030年の中期公共投資計画における資本規模の拡大を反映しています。年初の実行は、資金配分の遅れ、行政手続き、ならびに旧正月（テト）休暇の影響を受けました。当局は、資金配分の加速、用地取得問題の解決、および主要インフラプロジェクトに必要な建設資材の確保を重視しています。

(出展: VietnamPlus)

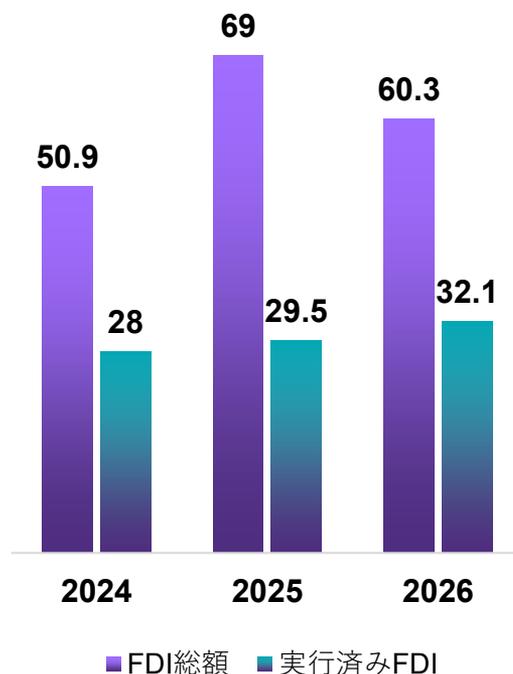


続きを読む

## 2. 2026年初にベトナム、外国直接投資（FDI）約USD60億を誘致

統計総局によると、2026年最初の2か月間におけるベトナムの登録FDIはUSD60.3億となり、前年同期比で12.6%減少しました。内訳としては、新規登録資本がUSD35.4億（620件、金額ベースで61.5%増、件数ベースで20.2%増）、既存プロジェクト180件に対する追加投資がUSD19.9億、出資および株式取得がUSD4.995億となっています。一方、実行済み外国直接投資はUSD32.1億に達し、前年同期比で8.8%増加し、1～2月期としては過去5年間で最高水準を記録しました。

2024年1月～2026年2月のベトナムへの外国投資（USD億）



(出展: TheInvestor)

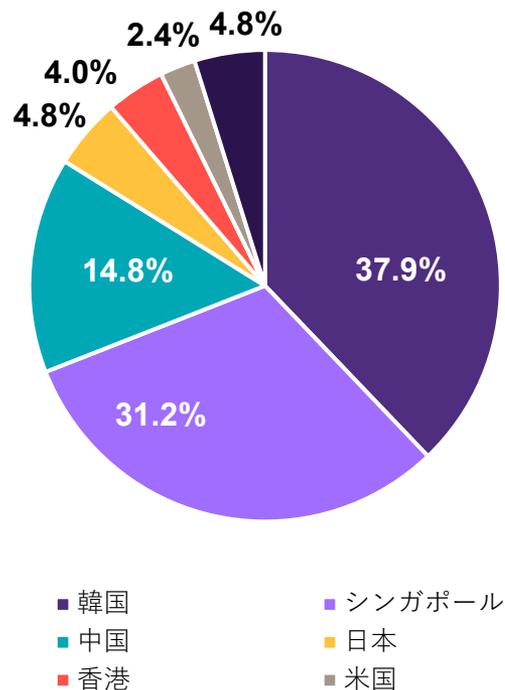


続きを読む

## 2. 2026年初にベトナム、外国直接投資（FDI）約USD60億を誘致（続き）

製造・加工業は引き続き新規登録FDIの最大の受入分野であり、USD26.3億を誘致しました。これに続いて、卸売・小売業がUSD3.586億となっています。新規認可プロジェクトに投資した44の国・地域の中では、韓国がUSD13.4億（新規登録資本の37.8%）で最大の投資国となり、次いでシンガポール（USD11億、31.1%）、中国大陸（USD5.228億、14.8%）、日本（USD1.71億、4.8%）が続いており、ベトナムへのFDI流入において地域内投資家が引き続き主導的な役割を果たしていることが示されています。

2026年1月～2月のベトナムへのFDI登録  
資本金の出資元（単位：USD百万）



(出展: TheInvestor)



続きを読む

### 3. 2026年最初の2か月間において、ベトナムは貿易赤字を計上

2026年最初の2か月間におけるベトナムの輸出入総額はUSD1,557.3億に達し、前年同期比22.3%増と、年初から力強い貿易の動きを示しました。輸出はUSD763.9億で18.3%増加した一方、輸入はそれを上回る26.3%増のUSD793.4億となり、約USD29.5億の貿易赤字となりました。また、輸出入活動からの国家予算収入はVND70.1兆（約USD26.6億）に達し、前年同期比12.3%増加しました。これは、輸入額の増加に加え、税関による監督および取締りの強化により税収が拡大したことを反映しています。



USD1,557.3億  
総貿易額

USD29.5億  
貿易赤字

輸入  
USD793.4億

輸出  
USD763.9億



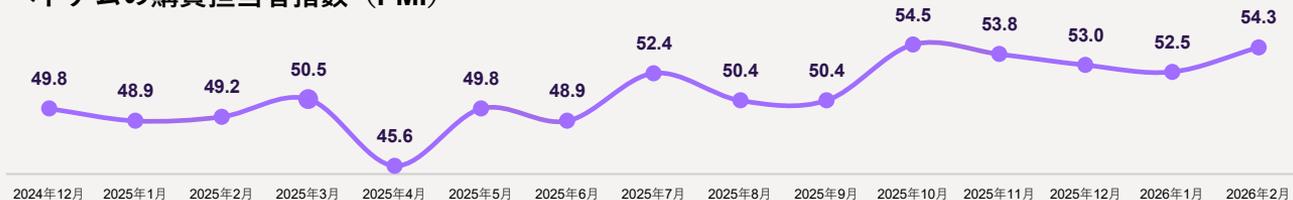
続きを読む

(出展: Vietnamnews)

## 4. 2月の製造業PMI、4か月ぶりの高水準に上昇

S&Pグローバルによると、ベトナムの購買担当者景気指数（PMI）は2月に**54.3**となり、1月の**52.5**から上昇しました。これにより、景況感の改善は**8**か月連続となりました。生産は、国内需要の回復および新規受注の増加を背景に、**19**か月ぶりの高い伸びを記録しました。一方で、国際市場の不安定さが続く中、輸出需要は横ばいにとどまりました。また、仕入価格の上昇や輸送コストの増加により、投入コストは**2022**年半ば以来の高い上昇率となり、製造業者は販売価格の引き上げを余儀なくされました。

ベトナムの購買担当者指数（PMI）



(出展: S&P Global)



続きを読む

## 5. 燃料価格の上昇が企業のコスト圧力を増大

中東における緊張の高まりを背景とした燃料価格の上昇は、ベトナム全体の企業に新たな圧力をもたらしています。国内の小売燃料価格は、1週間のうちに複数回の調整が行われた結果、大幅に上昇しており、**RON95ガソリン**および**ディーゼル**は1リットル当たり約**VND1万**上昇しました。運輸セクターは特に大きな影響を受けており、燃料費が運営コストの約**35~40%**を占めることから、一部の企業では運賃の引き上げや燃料サーチャージの導入を検討しています。タクシーおよび旅客輸送事業者も、競争力を維持するために運営体制やコスト管理戦略の見直しを進めています。さらに、燃料価格の上昇は物流費や生産コストの増加にもつながっており、特に輸送や輸入原材料への依存度が高い水産加工業や飼料産業などにおいて、その影響が顕著となっています。

(出展: Vietnamnews)



続きを読む

## 6. ベトナム、国家AI開発基金の設立へ

科学技術省によると、ベトナムはAI関連法の施行計画の一環として、**2026～2027年**に国家人工知能開発基金の設立を進めています。本基金は、AIの研究、イノベーション、および商業化を支援するとともに、ベトナムにおけるAIエコシステム全体の強化を目的としています。同計画の下で、政府はハイテクパーク、デジタル技術ゾーン、イノベーションセンターにおいてAIクラスターを整備し、物理的インフラとデジタルネットワークを組み合わせることで、研究機関と企業の連携を促進する方針です。また、当局はAI基金の設立および運営を規定する**2つ**の施行令の策定も進めています。さらに政府は、国家AI倫理フレームワークの導入、高リスクAIシステムのリストの策定、AI開発に必要な主要データセットの整備を計画しており、あわせてAI人材の育成を拡大する国家プログラムの立ち上げも予定しています。

(出展: Vietnamnews)



続きを読む

## 7. 改正投資法が施行

ベトナムの改正投資法は3月1日に施行され、投資環境の改善および企業の自主性強化を目的とした改革が導入されました。本法では、条件付き事業分野39項目が廃止され、さらに20項目の適用範囲が見直されており、事前承認型の管理から事後の監査型の管理への移行が進められています。また、電子タバコおよび加熱式たばこの取引が禁止されました。新法ではさらに、投資方針の承認を要するプロジェクトの範囲が明確化されるとともに、承認権限が首相および地方当局へと分権化されています。加えて、投資プロジェクトの変更手続きが簡素化され、工業団地、ハイテクパーク、デジタル技術ゾーンにおけるプロジェクトに対する特別投資手続きが拡大されることで、投資家にとっての行政手続きの効率化が図られています。

(出展: Vietnam Investment Review)



続きを読む

## 8. インフラ整備が南部工業用不動産市場の成長を牽引

ベトナム南部の工業用不動産市場は、大規模インフラプロジェクトの進展により地域の連結性および物流能力が向上する中、新たな成長段階に入っています。主なプロジェクトとしては、年間旅客数2,500万人、貨物取扱量120万トンの能力で2026年の稼働開始が見込まれるロンタイン国際空港のほか、環状3号線およびビエンホア～ブンタウ高速道路の整備が進んでおり、工業団地と港湾クラスター間の連携強化が図られています。

SavillsおよびCBREによると、インフラの改善により工業開発は従来の主要拠点を超えて拡大しており、同地域における製造および物流の役割が一層強化されています。2025年末時点で、ベトナム南部の工業用地は約25,700ヘクタールに達し、稼働率は約90%に近づいています。また、平均賃料はリース期間あたり1平方メートル当たりUSD193に達しており、製造業者および物流事業者からの持続的な需要を反映しています。

(出展: Vietnamnews)



続きを読む

## 9. 対外貿易法改正案、貿易円滑化を目的に提案

商工省、ベトナムの国際的な約束との整合性を高めるため、対外貿易管理法の改正を提案しました。当局によると、企業がグローバルサプライチェーンへの統合を深める中で、既存の規定は輸出入活動の複雑化を十分に反映していないとされています。改正案は、規制上のギャップの解消を目的としており、例えば、修理や保証対応のために一度輸出した製品を再輸入する仕組みの不備などに対応することが含まれています。また、原産地証明書（C/O）の発行ルールの標準化や、CPTPP（環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定）などの貿易協定に基づく自己証明制度の枠組み強化も図られています。さらに、自由流通証明書の発行権限の拡大も検討されており、これにより行政手続きの簡素化および対外貿易の効率化が期待されています。

(出展: Vietnamnews)



続きを読む

## 10. ベトナムとEU、包括的戦略的パートナーシップを強化

ベトナムとEUは、外務大臣Le Hoai TrungとEU外務・安全保障政策上級代表Kaja Kallasとの電話会談を受け、新たに格上げされた包括的戦略的パートナーシップの実施に向けた取り組みを強化しています。双方は、政治的信頼の深化および貿易、投資、科学技術分野における協力拡大を背景に、二国間関係が良好に発展していることを強調しました。EU・ベトナム自由貿易協定（EVFTA）は引き続き経済関係を支えており、ベトナムはEUにとってASEAN最大の貿易相手国であり、EUはベトナムにとって世界第4位の貿易相手となっています。また、双方は海洋安全保障分野での協力強化や、パートナーシップの推進に向けた定期的な対話の維持についても協議しました。さらに、東シナ海（南シナ海）における平和と安定の維持において、1982年国連海洋法条約（UNCLOS）を含む国際法の重要性を改めて確認しました。

(出展: VietnamPlus)



続きを読む

# お問い合わせ



**Mrs. Trinh Thi Tuyet Anh**

Director

Business Development and International Liaison

**T** +84 28 3910 9170

**E** anh.trinh@vn.gt.com

**LinkedIn:** Anh Trinh

**Ms. Tran Ha Bao Ngoc**

Associate

Business Development

**E** BaoNgoc.Tran@vn.gt.com

# お問い合わせ



仁科 仁

Director / CPA  
Japan Desk

T +84 906 719 178  
E [Nishina.Jin@vn.gt.com](mailto:Nishina.Jin@vn.gt.com)



谷口 雅宣

Director / CPA  
Japan Desk

T +84 358 177 966  
E [Masanobu.Taniguchi@vn.gt.com](mailto:Masanobu.Taniguchi@vn.gt.com)